

## 平成28年7月26日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時30分  
閉会 午後 4時45分

### 2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
若 本	委 員

### 3 欠席委員

な し

### 4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
白波瀬	次長兼総括指導主事
吉 村	教育総務課長
田 中	学校教育課副課長
河 原	社会教育課長兼中央公民館長
大 西	社会教育課人権教育担当課長
難 波	教育研究所長
永 田	学校給食センター所長
内 藤	図書館長
中 川	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

### 5 傍聴者

なし

### 6 議事の概要

#### (1) 開会

○教育長が開会を宣言。

#### (2) 前回会議録の承認

平成28年6月28日に開催した定例会の会議録について一部文言の修正を行い承認した。

#### (3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

### ◎亀岡市関係

- ・ 6月24日から地域こん談会が各自治会単位で開催されている。学校規模適正化の協議をはじめた地域では、今後の進め方等について質問がされた。学校が小規模化している地域では、学校の存続を心配されており、適正化をどのように進めていくのかという質問があった。馬路町や千歳町では、亀岡川東学園の特認校の導入について、また、川東4町からは、丹波 NEW 風土記の里構想の推進についての意見があった。その他、学校施設の修繕等について意見があった。
- ・ 7月6日には、舞鶴市と福知山市へ中学校給食の視察に行った。舞鶴市はデリバリー方式による全員喫食で、福知山市は、給食センター方式で実施されている。
- ・ 7月7日には校園長会議を開催し、服務規律の確保について、文書管理の徹底と交通事故防止について指示した。ALT は7月28日に新旧交代となり、3人から2人になる。今後はいくつかの拠点校に絞って配置することを考えている。
- ・ 7月14日には、市立学校教職員の安全衛生委員会を開催した。今回は、教職員の勤務時間や交通事故について協議を行った。
- ・ 7月21日には、高齢者さわやか教室の第2講が行われ、多くの参加があった。

### ◎国・府等の関係

- ・ 7月8日に京都府教育委員会連合会幹事会が開催された。次年度の予算要望や教育委員の研修会などについて説明があった。

### ◎その他

亀岡市都市計画審議会の委員を教育委員の中から選任しているが、2年の任期満了を迎える。現在、江口委員にお世話になっており、引き続き江口委員を教育委員会から推薦させていただきたい。

○報告を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員 指導簿を紛失した非常勤職員への処分は行ったのか。

教育長 これから京都府教育委員会と協議して決定していきたい。

委員 ALT が3名から2名へとなったことは、これからの亀岡の教育にとって残念なことであり、近い将来に戻すことも検討してほしい。

教育長 どれぐらいの頻度で ALT が学校にいることが子どもたちの英語力の向上に繋がるのかという点で、教育的な効果を得るためには、一定の時間数が必要であると考えている。集中的に学校にいて効果を検証し、成果があるなら財政課と予算協議していきたい。

#### (4) 議 事

議案番号	件 名
第 5 号議案	亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の原案決定について

○第 5 号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・子ども子育て支援新制度による児童福祉法の改正に伴い、放課後児童会の受け入れ対象学年の拡大等に対応していくため、小学校 3 年生までであったものを小学 6 年生まで受け入れていく必要がある。段階的に年次的に拡充していくことから、まず平成 27 年 4 月から学校の長期の休みに限り小学校 4 年生まで拡大し、今年から小学校 5 年生まで拡大してきた。当初、来年の 4 月から 6 年生まで拡大する予定であったが、保護者ニーズ等を踏まえて 3 か月前倒しし、平成 29 年 1 月から実施するものである。また、受け入れる施設等の条件が整っている場合には、長期休業期間だけでなく、通年で 6 年生まで受け入れていくもので、実施可能な学校については、今後規則で整理することを考えている。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 現時点で希望している学校はあるのか。

事務局 大規模校のほうが希望は多いと思うが、対応できるのが小規模校からとなる。

教育長 大規模校では、放課後児童会を実施する教室が無いことや、学校外の施設を借りているところもあって費用がかかるため、今年度についてはできる範囲で実施する。

委 員 現実にどのくらいのニーズがあるのか。ハード面の要望は。

事務局 ハード面の要望としては環境面の改善が多い。長期休業期間の入会数をみると 4 年生は利用が多いが、大きくなるにつれて減っていき、6 年生はそれほど多くないのではないかと考えている。

○第 5 議案について原案どおり承認した。

#### (5) 報告事項

- ① 亀岡市学校規模適正化の中間報告について
- ② 平成 28 年度運動会・体育祭の日程及び出席者（案）について
- ③ 地域ふれあいサイエンスフェスタ サイエンスボランティアの募集について

て

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<亀岡市学校規模適正化の中間報告について>

委員 意見聴取の記録はあるのか。

事務局 それぞれの説明会については、意見要旨として取りまとめたものはある。それとは別にPTA等でアンケートを取られたところもある。

委員 東輝中・詳徳中ブロックの反対意見はないのか。

事務局 反対意見としてはほとんど聞かない。詳徳中学校から東輝中学校へ移っていただく方法として、来年の4月に入学する1年生から順次3年かけて移っていただくことを提案した。しかし、来年4月からは難しいという意見が多数あり、中学校も小学校と同じ平成30年4月からの実施も考えていく必要がある。一方で、小学校1年生は来年から移ることができるのかという意見もいただいている。できるだけ、スムーズに移行できるように、交流事業等を設けていきたいと考えている。

<地域ふれあいサイエンスフェスタ サイエンスボランティアの募集について>

委員 ボランティアは何名募集するのか。

事務局 50名程度を考えている。

(6) その他

①平成28年9月亀岡市議会定例会日程(案)について

②亀岡市立図書館年報(平成27年度)

③第60回企画展『季節の楽しみ—行事食と暮らしの道具—』展示会図録について

④第61回企画展「中川小十郎—馬路村から立命館創立者へ—」について

⑤事務局より報告

次回の定例教育委員会を平成28年8月22日に開催することとした。

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上